



T A I S E I

泰星

泰星学園
同窓会会報

第4号 (1998.5月)

発行元 泰星学園同窓会事務局
〒810 福岡市中央区輝国1丁目10-10
TEL (092) 712-7181(代)
FAX (092) 716-5036



目次

- 会長あいさつ
- 校長あいさつ
- 泰星絶行
- 同窓会活動報告
- 事業計画について
- 泰星学園は今・・・
- 事務局より
- 同窓会総会案内

会長挨拶



同窓会会長
松尾 秀夫

泰星学園同窓会の諸々の事業・イベントに係わって、早一年が過ぎ、無我夢中の一年であったと思っております。

第49回の卒業式も、2月28日無事終了し、4月より又新しい年度が始まり、先生方も情熱を持って学務に携われることだと思います。

この卒業式に出席し、梶山校長先生の饒の言葉を聞き、送辞、答辞に耳を傾け、卒業生と一緒に蛍の光・校歌を歌っていると、一時期(学生時代)の青春を思い出しました。

同窓生の皆様もそうであったと思いますが、勉学・スポーツ・遊びに理想と情熱を持ってあたられたと思います。

ある本の中で「年を重ねただけでは、人は老いない。理想を失うとき、初めて老いる。歳月は皮膚にしわを増すが、熱情を失えば心はしほむ」という「青春の詩」を見て、再び勇気を出して私達一同、青春時代に母校で学んだ教訓を心に持ち、世の中のためになるよう活躍していきたいと思えます。

又、今回泰星学園の教育環境整備のマスタープランが検討され、中高棟校舎・体育館・第一グラウンドは築25年を経過し、劣化が進んだ為、大幅な修理。クラブハウス・面談室・テニスコートの新設が予定されています。

その資金について、学園には充分な余力がないので、同窓会、父兄会、後援会の浄財を仰ぐことになりました。

近年の厳しい経済状況の中で、会員各位にこのご援助をお願いすることは誠に申し訳ありませんが、何卒学園の今後の発展のためお力添えをお願い申し上げます。

校長挨拶



泰星学園校長
梶山 義夫

私たちの校歌は味わい深いものです。その一節を考えてみましょう。

賢智。それは、神から授かった優れた知恵を意味します。私たちのこの奥底には、何歳になっても、真理へのあこがれ、本当のことを知りたい、本物と出会うと望みがあります。しかしこの望みは簡単に満たすことができません。賢智を得るために、人生の道のりの中でたえず本物と出会うと、地道に探究するところが求められます。「日々の初心」という言葉がありますが、日常生活のありふれたと思われる出来事の中に、新たなものを見つけ驚く初々しいところ、常に深い意味を見い出そうとする態度が求められます。人生にとって大切な知恵を悟るための道のりは遠く、人生の最後の日まで歩み続けなければなりません。本当に大切なことは、からだの目で見たり、手で触れたりすることのできないものです。この目でしか見えない、この耳でしか聞かえないものです。この目を開けて、この耳をすまして、一度しかない人生の意味について、世界中で歴史の中でたった一人しかない私たち一人一人の生き方について、そして永遠なるものについて思いをめぐらせましょう。

徳、人の素晴らしさ。私たちは幾つになっても素晴らしい人に大きく成長する可能性を秘めています。大きく成長するきっかけはいくつあるのでしょうか。「いま」という時です。「いま」という時を充実させるように心がけ、「いま」という時に、神に賛美と感謝を捧げ、人を大切に、より人間的な社会を建設するように心がけることが問われています。

学園はいま着実に一歩成長しようとしています。しかし、輝国の校舎やグラウンドも25年の歳月の流れの中で、総合的な補修を必要とする部分が増え、さらに教育環境を向上させるために、相談室やクラブハウスを新設しなければなりません。既に在校生の保護者の方々には寄付を理事長名でお願いしております。同窓生の皆様方もこの趣旨を汲んでくださり、学園が「賢智と徳との真の光」を求めて発展できるように、経済的にも御支障くだされば幸いです。

泰星紀行



カトリック高松司教区
深堀 敏 司教

泰星中学
あの日のあの
授業のこと

わたしは昭和17年3月泰星中学を卒業しました。太平洋戦争の勃発数カ月です。わたしはいわゆる戦中派に属するわけですが、自分の少年時代をふり返って見て、とくに記憶に残っているものがあるかと問われますと、ふしぎに戦争とは関係のないことが多いのです。もちろん生と死をみつめる条件は、わたしたちのごく身近にいくつもそろっているはずなのですが、それを深刻に受け止めたようには思えません。十代後半の年ごろというのは、まだ自らの存在を直視する心構えが出来上がっていなかったからでしょうか。

卒業を目前にひかえたある日、半年ほど前まで、一緒に机をならべて勉強していた数歳年上の生徒が軍隊にとられ、その年の二月始めのシンガポール攻略戦のさなかに、戦死をとげたという公報が入りました。一瞬わたしも顔をこわばらせたのでしたが、成長ざかりの少年たちには、友人の突然の死さえも気を転倒させるほどの出来事にはなりません。

卒業から60年近くたった今でも、ほのぼのとわたしたちの心よみがえってくる泰星の思い出は、ひとりの教師のある日の授業のことです。

この先生は週に一回「公民」という授業のために姿をみせる非常に温厚な感じの方でした。その日の授業がはじまると、先生は白墨をとり黒板に力強い筆致で「鉄鉢の中へも霞」と書かれました。これは山頭火という人の自由俳句で、作者が言おうとしているのはこれこれだとの説明がありました。一人の禅僧(山頭火その人)が、読経をしながら門付けをし寒風にさらされて歩いていく。朝からなにひとつ貰えず、冷たい鉢には一粒の米も一枚の小銭も入っていない。その鉢の中にあられが飛び込んできて、しゃりんと音をたててはじけた、そういうことなのだ。

山頭火の句はわたしの頭にやきつき、鉄鉢に飛び込んだあられの音は胸の奥に響いたのでしよう。いまでもあの日のあの授業を思い出すことがあり、そのたびにあの泰星中学の寒々とした教室の情景とともに、かすかなあられの音が聞こえます。(先生は山頭火の訃報を聞いて、あの句をわたしたちに紹介なさったのかもしれない。もしそうでしたらあの日は山頭火死去の年、昭和15年のある日のことでしょう。)

同窓会活動報告

『平成9年度同窓の集い』を開く

平成9年7月5日(土)午後6時より博多パークホテルにて、本年度担当幹事第28期、第29期生の企画・運営によって開催された。

まず、松尾同窓会会長の挨拶で始まり、「今やわが母校も校長先生をはじめ諸先生方のご尽力により素晴らしい学校となり、今や私学の名門として評価されています。我が同窓会としても組織の充実を図り、同窓生に情報の発信源としての役割をしたい。そのためにも、同窓会名簿の充実を急ぎ、また財政面でも本年度より、年会費・終身会費の制度を設けましたのでご了解賜りますとともに、今後とも同窓会活動にご協力をお願い致します。」と挨拶があり、続いて梶山学校長のご挨拶があり「学校の近況報告があり、本年度卒業生136名、新入学生(第54期)200名であった。泰星の中高一貫教育が確実に実っています。大学進学のみならず、キリスト教の教えを中心とした人格形成の教育をしています。今後とも、同窓会の方々の力強いご支援をお願いします。」と挨拶されました。引き続き議事に入り、議長に末若直司氏(6回卒)を選出し、平成8年度の事業報告・決算報告、平成9年度の事業報告・決算報告等を満場一致で承認されて総会は終了した。参加者全員の記念撮影をし、懇親会にうつった。久保顧問(前同窓会会長)の乾杯の音頭で、今年も賑やかに始まった。来賓の学校長をはじめ、先生方多数をお迎えして、年に一度の再会に会場は和やかな雰囲気包まれた。

八尋先生(11回卒)により来賓先生方の紹介あり、恒例の同窓生有志より寄贈された賞品でのビンゴゲームあり、大いに盛り上がりました。最後に、全員肩を組み校歌の大合唱で盛會理に閉会した。平成10年度総会は、7月18日(土)午後6時より、博多パークホテル(同じ会場)にて、担当幹事第29期、第39期、第49期生の企画・運営にて開催致しますので、お誘いあわせの上、多数のご参加をお願い致します。



若宮ゴルフクラブ	
H9.5.20/ 参加者 12名	
優勝	山田 81- 8.4 = 72.6
準優勝	大串 85-12.0 = 73.0
3位	末若 87-13.2 = 73.8
4位	鈴木 85-10.8 = 74.2
5位	小路 109-33.6 = 75.4
6位	久保 96-19.2 = 76.8
7位	松尾 95-18.0 = 77.0

同窓会コンペ



福岡レイクサイドカントリークラブ	
H9.11.7/ 参加者 12名	
優勝	神村 90-16.8 = 73.2
準優勝	鈴木 89-15.6 = 73.4
3位	田中文 103-26.4 = 76.6
4位	大串 101-24.0 = 77.0
5位	久保 98-20.4 = 77.6
6位	野田(弟) 102-24.0 = 78.0
7位	信川 102-24.0 = 78.0

泰星会では春秋年2回開催いたしております。皆様の参加をお待ちしております。連絡先:田中文男(第6期) TEL・FAX 843-5828

東京支部の設立

前から懸案でした、東京支部の設立を行いました。

第1回総会を平成10年11月15日に、皇居の近くで半蔵門イギリス大使館横の「ふくおか会館」で行いました。

出席者19名で、福岡からも、梶山校長、大串先輩にもご出席いただき、大いに盛り上がり楽しいひとときを過ごしました。

総会の決定事項は、

- ① 毎年1回総会を開催する。
 - ② 東京支部初代会長は、第4期富塚恭順先輩をお願いしご了承いただきました。
 - ③ 事務局をオーアイシステム(株)内に置く。
- 平成10年度は、同じ「ふくおか会館」で6月27日17時より行います。

東京地区の方は、ぜひご出席お願い致します。東京地区の名簿が、30名しか整理されておらず、情報事務局までお願いします。

横浜市中区長者町5-75-1 スクエア長者町ビル813号
オーアイシステム株式会社
電話 045(243)0510
FAX 045(243)0603
Eメール ois@beige.ocn.ne.jp 大場 優



八尋先生教頭就任祝賀パーティー

ハンドボール部は、今年創部30周年を迎えました。また、その節目の年に監督の八尋先生が教頭に就任され、二重の喜びとなりました。そこで、創部30周年と八尋先生教頭就任を祝う会を、3月21日に開催し、先生の御家族、並びに北海道・東京方面からも含め37名のOBが出席しました。なかには、卒業以来初めて(25年ぶり)という参加者もあり、昔話に花を咲かせ、あつという間に予定の時間を迎え、最後に先生への記念品贈呈・写真撮影を行い、盛況のうちに終了致しました。

OB会は、現在会員150名を迎え、毎年1月3日の総会、若手で構成するチームで年数回の大会参加、また現役の合宿補助などの活動を行っております。

会員数も多くなり管理も大変ですが、今後とも35・40周年に向けて会の充実を図り、卒業後も先輩、後輩の親睦の場を設けていきたいと考えております。



同窓の集いによせて

私達の祭りである「泰星学園同窓の集い」が今年もやってきました。福岡市観光キャッチフレーズ「よか街福岡、エキサイト」に見られますよう、我々の住む地元福岡も祭りを通して、国内外より多くの人を集めるの活性化に結びつけようとしております。

たとえば、福岡市民の祭りである「博多どんたく港まつり」ですが、祭り振興会では日本一のお祭りとして拡大されている現状をさらに見つめ直し、伝統を大切に、心と心がふれあう市民祭りにしていきたい。その為来年は、博多港開100周年、福岡市制施行110周年、福岡商工会議所創立120周年と福岡市に於ける大きな周年行事が三つも重なる節目の年を利用し、さらなる拡大を目指しています。副題として「前祝いタイ、みなと100周年」です。

我々同窓会としても、いかにして人を集めるか、特に若い人をいかにして集めるか、気をつかっているわけです。

平成9年の学園新聞「泰星」の第4号で述べたことですが、総会の当番幹事のごことで、従来より順次2学年制で当番幹事、副幹事として総会を担当してきましたが、これを10年間隔の3学年制に改め、中を持たせることによつて、従来以上の若い人を含めた多くの人を集めたいと言っておりましたが、3月の役員会で今回の当番幹事を29、39、49回卒とし、30、40回卒を副幹事として、中を大きく改めました。この事によつて拡大してゆけば幸いだと思っております。

これを機に、同窓会並びに学園のさらなる発展を念願し、かつ当番幹事・副幹事の皆様方のご努力に感謝致します。(松尾)



相談室

- ・構造及び延床面積：鉄骨造 181.25㎡
- ・用途：生徒会室，在校生進路相談室，同窓会室

棟
0万円
会より3,000万円)
0万円

り使用)



母校誕生65年、輝国の地に移転25年を期に新たな飛躍を求めて校舎及びグラウンドの新築及び改修工事が施されることになりました。特に今回の事業計画には待望の同窓会室が新築されることも含まれており、同窓会役員理事会では、母校の要請を受け、昨年の10月より今年の4月にかけてこの議題について幾度となく同窓会理事会を開催、母校の事業計画をいかに成功させるかを協議検討の結果、募金活動組織を編成し、決定された実行プランを本年4月より、次のように実施することを決定しました。同窓会諸氏の方々には、母校の益々の発展に向けて暖かいご理解とご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

待望の同窓会室が新設される

泰星学園事業計画決まる

寄付金実行プラン

1. 募集目標 金額 3,000 万円
2. 募集期間 平成 10 年 4 月から平成 13 年 3 月まで
3. 募集金額 1 口 10,000 円 1 口以上
4. 振込み方法 添付振込み用紙でお振込み下さい。
5. この寄付金は税法上の寄付金控除が受けられます。
その年の指定寄付金額のうち、1 万円を越える金額（最高は総所得額の 25%）の寄付金控除が受けられます。
ご入金確認後、学園よりお送りする領収書と特定公益増進法人証明書を添えると、翌年の確定申告によって控除を受けることができます。

事業計画概要

A 新築計画

1. 相談室（仮称）
2. クラブハウス（仮称）
3. テニスコート

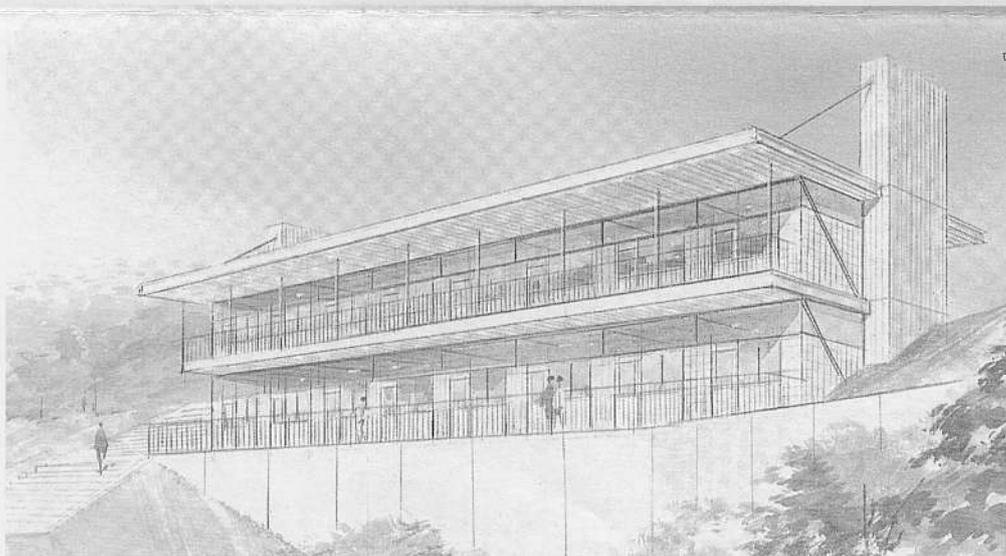
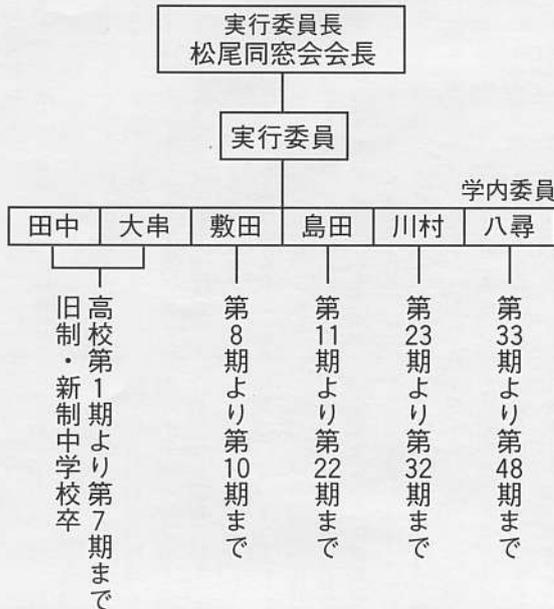
B 修繕計画

1. 校舎修理
中学棟・高校棟・特別教室棟・体育館・聖堂棟
2. グラウンド整備
第 1・2 グラウンド・ハンドボールコート

C 資金計画

	3 億円
寄付金	1 億 8,000 万 (内同窓会)
学校予算	1 億 2,000 万
D 設計管理	(株)那の津壽建築研究所
施工	(株)竹中工務店
完成	平成 10 年 8 月 30 日(二学期より使用)

募金活動組織



クラブハウス ・用途：部室，用具管理



泰星学園は今

【中体連】

◎バスケット部

★区大会決勝
泰星・四三・四五・当仁
★市大会
泰星・五二・七四・香椎一

◎サッカー部

★区大会
泰星・二二・平尾
泰星・一一・舞鶴
泰星・二一・警固
泰星・四一・春吉
泰星・五〇・福教大付属
泰星・一一・当仁
泰星・一七・〇・大濠

◎バレー部

★区大会
泰星・二二・平尾
泰星・二一・警固
泰星・四一・春吉
泰星・五〇・福教大付属
泰星・一一・当仁
泰星・一七・〇・大濠

◎野球部

★区大会
泰星・二一・六・春吉
泰星・〇一・七・当仁

◎ハンドボール部

★市大会
泰星・〇一・二・片江

◎柔道部

★市大会(団体)
泰星・〇一・三・老司
★市大会(個人)
富向・松尾(シングル)
本村・岡田(ダブルス)
曾野・平田(ダブルス)

◎テニス部

★九州大会
草野(シングル四位)
草野(二回戦敗退)

◎陸上部

★区大会総合三位
◎ハンドボール部
★市大会優勝
★県大会優勝

★九州大会
一回戦
泰星・二二・一・三・多久中央
泰星(佐賀)
二回戦
泰星・二二・一・三・神森
(沖繩)

◎柔道部

★区大会(団体)
泰星・二二・一・平尾
泰星・〇一・五・当仁

◎剣道部

★一回戦敗退
◎ハンドボール部
★市長杯優勝

◎テニス部

★山本(二回戦突破)
★本村(ベスト一六)

◎サッカー部

★新人戦
泰星・七・一・日新館
泰星・〇一・九・小倉東

◎柔道部

★金鷲旗
泰星・二一・四・浮羽

◎剣道部

★玉竜旗(二回戦敗退)

◎野球部

★夏季県大会
泰星・三・一・四・直方
★秋季県大会
泰星・二一・六・戸畑中央
(延長二三回)

◎自転車同好会

★松尾順人(高二)
★世界ジュニア選手権
全国大会(静岡)
1kmトライアル12位
★全国選抜大会(沖繩)
ロードレース57位

◎ 中学ハンドボール部 九州大会出場 ◎

全国中学校ハンドボール大会の予選が七月から始まった。市大会から接戦が続き、同点延長戦を三回勝利し、泰星中は市・県両大会において優勝を飾った。八月八日(一)日の九州大会に向けてチーム調整をし、県大会で左のエース工藤を骨折で欠いたため万全ではなかったが、気運を盛り上げて宮崎へ乗り込んだ。

一回戦は多久中央(佐賀県二位)と対戦した。立ち上がり五分、多久の先行で二一〇とリードを許したが、徐々に自力に勝る泰星は盛り返し、結局前半は一一一五の優勢で折り返すこととなった。後半は九州一番の長身富永のロングシュートも次々と決まり、有岡、遠藤の活躍で二二一一三と快勝することができた。後半の残り五分はスタメンを休ませる余裕すら泰星にはあったのである。

二回戦は強敵、神森中(沖繩一位、昨年全国二位)と対戦。前半から両チームともよく守り、よく攻めて一五分まで六六と譲らず好ゲームを展開、シュートミスからの速攻で一〇一七とリードされ、泰星の劣勢で前半を終えた。後半は神森中のロングシュートが次々と決まり、泰星もノーマークシュートを四本ミスするなど、最後まで粘りを見せはしたが、二二一一三と敗れた。

なお、決勝戦は春の大会と同様、沖繩県同士の組合せとなり、改めて沖繩のレベルの高さと運動量の多さに目を見張ることとなった。しかし、泰星もスタミナ面を除けば全国大会レベルにあることをこの大会は実感させてくれた。

また、週三回のクラブ活動でも集中して練習すれば、市大会、県大会へと道が開かれてくる。今年は六つのクラブが市大会に進んで活躍している。中学・高校とも集中した練習で全クラブの向上を期待している。

泰星と二回戦で当たった神森中は、八月に行われた全国中学校ハンドボール大会において見事優勝を挙げた。

九月に入り、JOC九州大会に福岡県代表として有岡、富永、工藤(一三)の三名が選抜され、一〇月九日の沖繩大会に参加した。またしても沖繩の神森中と対戦し、惜敗している。全国大会への道の壁の厚さを感じた。



野球部、県大会準優勝

10年ぶりの快挙

輝国が体育祭に燃えている中、浮羽で泰星野球部は決勝戦に進出した。惜しくも準優勝であったが、部員一同、誇りと決意を胸に刻むことができたと思う。

初戦は五月三十一日、対戦相手の朝倉東はすばらしくカーブの切れる投手を擁しており、司令塔古屋はひたすら正攻法でこの投手と戦った。二回、四番稲野野邊の四球をきっかけに五番有岡は相手の失策を呼ぶ進塁打。六番山野がバントを決め投手の動揺を誘い、ポークと七番園田の犠牲フライで先取点を挙げた。ベースをつかんで着実に加点、好ゲームをものにした。

翌日、体育祭当日。準決勝戦は直方高校である。この試合は九回の攻防につきる。八回に直方の満塁策を七番園田が走者一掃、塁打で、四点差として迎えた九回。限界を超えた相良・古屋(？)・山野で四死球は七個。ストライクは七球しか無かった。無死満塁で同点にされ、誰しも勝負を諦めたとき、流れを変えたのが捕手有岡の三塁走者を刺した牽制球であった。立ち直った山野投手も続く打者を浅いセンターフライ、三塁ゴロにとめて、サヨナラの舞台を整えた。九回裏、先頭の三代は四球、これを一番古屋が進塁させ、一死二塁。二番野中は得意の内野安打で一死一・三塁。三番南はポテポテ二塁ゴロ。それを三塁走者三代の見事な走塁でサヨナラ。非常に盛り上がったが、心臓に悪いゲームであった。

決勝戦は十年前と同じ大濠高校。フル出場で疲れ切った山野に替えて森山を先発させていれば、という思いはあるが、最後までゲームを捨てず六点を打ち取った部員の攻撃力、五回以降見事に大濠打線を抑えた森山の好投、急遽出場した右翼手東の適時打等、得るものが多い試合であった。ただ、決勝進出の立て役者であった三代が四回守備時に交錯して退場したのが惜しまれる。

高校野球部が賞状を手にするのは十年ぶりだ。真価を問われるのはこれからである。誇り高い部活動を期待している。(渡邊)



プラスバンド春の定期演奏会

僕たち泰星プラスオーケストラは、現在約30人の部員で活動しています。一年間の主な目標は毎年春に行う定期演奏会の実行と成功です。これが僕たちの一年間の成果を発揮する舞台です。

僕たちの一年間の活動内容は、まず新生の入学式での演奏です。校歌や入場行進曲などを演奏します。次に体育祭では、入場行進やマスケムで、行進曲やポピュラー音楽などいろいろな曲を演奏します。また、文化祭では、ジャズを中心とした演奏会やミュージックカフェなどを開いています。そしてこの9月から4月にかけて、定期演奏会の練習に入ります。定期演奏会では、クラシック曲を演奏するI部、ジャズやポピュラー、バラードや映画音楽と多彩なII部があります。この一年に一回の定期演奏会の舞台にあがるときの緊張は、経験してみれば分かりますが、とてもすく、そしてとても興奮するものです。舞台上ではソロ演奏などもあり、スポットライトを浴びて演奏する快感は忘れられません。また、今年も、定期演奏会10回記念ということで、夏にメモリアルコンサートを開きました。このコンサートでは、今まで泰星を卒業していかれたプラス部OBと、つらつら演奏していかれたこのコンサートでは、初の試みとして、ビッグバンドスタイルや、歌謡曲や演出を使ったステージを行いました。

この部活では、部活時間外では、先輩と後輩、それとOBとの関係は深く、皆友達感覚で接しています。また休みなどには、みんなで遊びにいったりすることも楽しい部活です。しかし、部活の時には真面目にやらなくてはなりません。この部活に必要なことは、演奏技術ではなく真面目さです。現在、部員を多数募集しますが、演奏経験のない人でも、部活にもやさしい人ならば大歓迎です。先輩やOBもやさしい人ならば大歓迎です。演奏会をしてみたい人は、ぜひ一度やってみて下さい。

平成10年度 学校行事予定
4/9 入学式
5/31 体育祭
6/6 後援会総会
9/23 文化祭
10/30 創立記念日
11月 卒業式・高校入試説明会

平成11年1月 入学式
2/2 卒業式・高校入試説明会
3/18 終業式

平成 10 年度大学入試 合格速報 (1998. 4. 20 判明分) 49 期卒業生 / 140 名

国公立大学	現役	浪人	合計	防衛大学(1次)	8	1	9	甲南大学	2	1	3
東京大学	5	1	6	私立大学	現役	浪人	合計	近畿大学	1	5	6
一橋大学	1	0	1	早稲田大学	11	1	12	福岡大学	16	15	31
東京工業大学	1	0	1	慶応大学	12	3	15	西南学院大学	10	4	14
東京外語大学	1	0	1	上智大学	6	0	6	他の私立大学	11	12	23
東京農工大学	2	1	3	中央大学	0	2	2	医学部	現役	浪人	合計
東京学芸大学	1	0	1	法政大学	3	0	3	九州大学(医)	1	0	1
大阪大学	1	2	3	立教大学	2	0	2	熊本大学(医)	1	0	1
大阪教育大学	1	0	1	明治大学	1	1	2	長崎大学(医)	0	1	1
岡山大学	0	1	1	東京農業大学	0	1	1	徳島大学(医)	0	1	1
徳島大学	0	1	1	日本大学	2	1	3	佐賀医科大学	1	0	1
九州大学	8	3	11	東京理科大学	4	2	6	産業医科大学	1	0	1
九州工業大学	6	2	8	青山学院大学	1	0	1	防衛医科大学	1	0	1
九州芸工大学	1	0	1	芝浦工業大学	1	1	2	福岡大学(医)	1	1	2
熊本大学	5	2	7	成蹊大学	3	0	3	杏林大学(医)	0	1	1
長崎大学	1	2	3	成城大学	1	0	1	川崎医科大学	0	1	1
大分大学	0	1	1	駒沢大学	2	0	2	歯学部	現役	浪人	合計
鹿児島大学	1	1	2	麻布大学(獣医)	1	0	1	九州大学(歯)	0	1	1
佐賀大学	1	0	1	南山大学	0	1	1	九州歯科大学	1	0	1
宮崎大学	1	0	1	同志社大学	15	1	16	福岡歯科大学	1	1	2
琉球大学	1	0	1	立命館大学	7	6	13	日本大学(歯)	0	1	1
神戸市外語大	1	0	1	関西大学	0	3	3	松本歯科大学	1	0	1
北九州大学	2	0	2	関西学院大学	2	0	2	薬学部	現役	浪人	合計
都留文化大学	1	0	1	京都外語大学	1	0	1	福岡大学(薬)	1	2	3
滋賀県立大学	1	0	1	竜谷大学	3	0	3	第一薬科大学	1	0	1

東大6名、九大11名の合格者！

進○学○状○況

泰星学園が中高6ヶ年一貫教育を始めてから14年が経過しました。最初の中学生たちが6ヶ年の泰星教育を受けて卒業したのは平成2年(1990年)のことでした。それから今年の49期まで、9回の卒業式で泰星を巣立った中高6ヶ年一貫教育の卒業生は、1,056名に及びます。その中でも特に今年度は実りの年となりました。ではその速報をご報告します。

197 泰星文化祭 盛況のうちに幕！
「一意専心」の手ごたえに満足感。 —
出逢いの文化祭を求めて



秋晴れの九月二一日、爽やかな風の中「いらっしやい、ようこそ、おいしーいよ」。生徒たちの活気にあふれた声が校内に響いた。今年の文化祭も保護者や一般の方々に多くご来場いただき、大盛況であった。この日まで、ご支援、ご指導して下さった父の会、母の会、後援会、協賛企業の方々、そして当日ご来校いただき励ましの言葉を掛けて下さった多くの方々から感謝を申し上げたい。

人生は出会いのドラマだと言われる。人生の中でどれだけ多くの良き出会いを重ねることができたか、でその人間は作られてゆくと言っても過言ではあるまい。明日の自分は分からない。一年先の自分は何と分からな。十年先、君は何をしているだろう。

泰星には Magis という素晴らしい出会いの言葉がある。本当の自分に出会い、輝く明日を見つけ出すこと、これが Magis の精神である。文化祭や体育祭、研修旅行、キャンプなどをはじめとして、学園生活には様々な出会いの機会が待



ちかまえてい。先日の演劇鑑賞「美女と野獣」は、その良き例であろう。余りにも辛く厳しい運命に悩み、苦しみながら孤独の中で得た一つの出会い。お互いの中に純粋さと優しさを見い出す二人初めて触れ合う二つの心。一人の美しい女性との出会いの中で生きるこの意味や人を愛することの大切さを知った野獣は、長い呪いから解放された元の王子に戻る、という物語であった。

文化祭の反省を並べ立てるよりも、私は文化祭の日に輝いた一人一人の顔や、文化祭を通して生徒たちの新たな一面に触れた喜びをここに記しておきたい。毎日毎日夜遅くまで準備作業をする実行委員のメンバー、それぞれの企画発表のために

黙々と仕事を生徒たち。一つ一つの経験が想い出となり、宝となってゆく現場に今自分が立ち会っているのだ、という思いを胸に刻みながら私はすっかり暗くなった校内を日々、見回っていた。それは、さながら映画の「コマを見ていよう」であった。「早く帰れ。」と言わねばならない立場を半ば恨めしく思いながら、そして自分の学生時代とオーバラップさせながら、この貴重な時間、場面の中にいられる自分の幸せを感じた。救拳にいとまはないが、どれほどの多くのドラマがあり、葛藤があり、悲喜交々、幾多の想いでこの文化祭が実現したことだろう。それらすべては、一人一人の生き様がそうしているのだ、と考えれば全てのことは正しく評価できる。

今年の文化祭は良かった、と胸を張って言う人は自らの力で輝いた人である。つまらなかつた、と言う人はこの行事を自分のために活かさなかつた人である。

何かに出会うためには、その出会いに見合う努力と犠牲が必要だ。何もせずに出会いや感動を求め、そんな虫のいい話はどこにもない。

今回の文化祭で、私の一番の出会い、泰星の生徒たちは素晴らしい、と心から誇ることのできる自信を得たことである。



四～五年の活動を経て、ようやく「泰星の文化祭」と言える何かが生まれつつあるのを感じている。

「岡崎かんさんを迎えて」 「伝統芸能」の連絡・接待係をやった二つのことを感じました。一つは岡崎かんさんについて、もう一つは生徒について。かんさんは、プロの演奏家です。いろんな場所でも多くの演奏会を開いてこられたことでしょう。にもかかわらずというべきか、だからというべきか、受ける印象は、深いものを湛えた初な感じというものでした。なされること、アフリカの純朴な村人たちが生活の中で叩く太鼓演奏です。なるほど初な人でなければできないのだらうと思っていました。私も初なので大いに助かりました。

最後に実行委員会の皆、文化祭の成功おめでとう。頑張ってくれた生徒たち、感動をありがとう！

(安部・古賀)

平成9年度同窓会会費納入状況

終身会費

旧中10期 山川 辰幸	23期 松井 忠之	42期 大串奈緒史	44期 北田 功治	46期 緒方 宏充	48期 江藤 慎治
7期 大串 安弘	32期 松岡 潔	42期 安河内 進	44期 米田 幸司	47期 王丸 陽光	48期 菊池 龍
9期 永井 浩道	33期 品川 敦彦	42期 一木 克之	44期 吉田 耕平	47期 清水 裕之	48期 田浦 康明
18期 志佐 幾範	34期 山田 佳明	42期 往田 卓	45期 大串奈津貴	48期 田中 亮悠	48期 田淵 晶也
20期 古川 徳治	42期 米田 宝広	43期 吉村 太輔	45期 安河内 弘	48期 倉員 正光	48期 清水 康仁

年会費

旧中7期 山田 成章	8期 友保 勝人	22期 白土 秀人	32期 原田 伸介	38期 竹井 次郎	42期 樋口 崇	47期 野本 和範
旧中8期 前田 輝夫	9期 豊島 溥	23期 川村 浩之	32期 中島 誠司	38期 武田 成司	42期 後藤 祐之	47期 小串 恭之
旧中9期 久保 守	9期 吉村 英昭	23期 古閑 伸一	32期 實藤 俊幸	38期 松田 勝之	42期 草場 暁登	47期 高木 治久
旧中9期 横江 昭	10期 市川 公夫	23期 井上 和剛	32期 中園 英隆	38期 森田 一寿	42期 上村 勇人	47期 飯田 大輔
旧中9期 富士 春秋	10期 中島 幸男	24期 高林 正規	32期 楠本 俊司	38期 角田 雄一	43期 山崎 大亮	47期 梶原 博臣
旧中10期 新立 定市	10期 平田 寛	25期 斎藤 純	32期 山本 智文	38期 外村 昌之	43期 石井 一徳	47期 室屋 毅
新中2期 増崎 三則	10期 嘉松 茂幸	25期 納富 浩	33期 福田 英一	38期 下坂 紀行	43期 古賀徳二郎	47期 佐藤 倫康
新中2期 松尾 清美	10期 岩本 登	26期 下町 豊重	33期 吉松 謙吉	39期 江口 保夫	43期 栗田真二郎	47期 吉田 大志
新中5期 江副 正一	11期 伊藤 賢治	26期 慶田 隆二	33期 田中 勝正	39期 百済 秀夫	43期 梶原 収臣	47期 占部 誠一
新中5期 篠原 隆義	11期 島田 征児	27期 瀬里 浩之	33期 吉田 憲正	39期 副島 顕	43期 角田 昌彦	48期 原田 豪
新中6期 末若 直司	11期 鹿毛 喜一	28期 迎 洋介	33期 磯中 美和	39期 門田 剛	43期 大森 隆生	48期 江田慶太郎
新中6期 田中 文男	11期 入住 力	28期 池田 満明	33期 中山 貴幸	39期 三根 秀行	44期 石橋 隆光	48期 小山 良浩
新中6期 戸田 豊彰	11期 宮崎 一之	28期 野崎 洋一	33期 鳥越 徹	39期 山本健一郎	44期 吉田 将博	48期 田原 仁
新中6期 木下伊勢男	11期 石橋 松美	28期 斎藤 孝徳	33期 新島 三行	40期 藤瀬 一成	44期 天本 弘毅	48期 青木健太郎
新中6期 青木 忠義	11期 八尋 良久	28期 江口 利彦	33期 速水 哲哉	40期 伊藤 直弥	44期 宮原 昌太	48期 徳永 和佳
3期 森 邦 蔵	16期 広田 朝弘	28期 柿本 昌士	34期 川端 幸一	40期 柴田 光彦	44期 井上 昌宏	48期 杉 直樹
3期 田中 守	17期 大場 優	28期 永岡 浩一	34期 古川 耕三	40期 山口 真一	44期 矢幡 重孝	48期 神田 哲郎
3期 宮崎 一男	17期 中村 俊次	28期 田中 智也	34期 長崎 浩一	40期 安達 恒介	45期 加藤 佳史	48期 天本 周一
3期 山田 勝男	17期 柳田 宗市	28期 鹿子嶋 洋一	34期 花田 政義	40期 田中慎一郎	45期 白木 亮	48期 佐野 亮
4期 富塚 恭順	18期 本徳 勉	28期 藤田 幸司	34期 牛島 啓行	40期 中島 正裕	45期 古賀 晋一	48期 段 智久
4期 山田 哲士	18期 池田 洋司	29期 大石 英雄	35期 境 研二	40期 大西 達也	45期 西坂 大助	48期 工藤 康晴
4期 加藤 啓祐	18期 栗田口正次	29期 明石 圭郎	36期 信川 康弘	41期 栗田善太郎	45期 佐藤 崇敏	48期 白水 立
4期 柴田 正勝	18期 松永 初喜	29期 櫻井 尚明	36期 古川 健太	41期 手嶋 史朗	45期 福岡 竜馬	48期 江見 優
4期 岩永 義人	20期 宮野 雄二	30期 明石 光生	36期 松尾 真之	41期 安田 潮人	46期 陶山 忠義	48期 中村 達郎
5期 渡辺綱太郎	20期 荒木 敏彦	30期 村上 勤	36期 江川健太郎	41期 齋藤 利久	46期 後山 泰一	48期 岩切 大地
5期 上杉 鷹雄	20期 大野 隆	30期 荒川 健次	36期 岡 亮	41期 田原 照久	46期 中村 隆広	48期 城戸 秀典
6期 松尾 秀夫	20期 柳元 正隆	30期 戸田 幸博	36期 田井喜久治	41期 花田慎一郎	46期 永野真喜雄	48期 渡邊 国広
7期 大串 安弘	20期 西村 政光	30期 江藤 俊治	36期 河野 雅美	42期 近藤 智行	46期 池田 浩平	48期 木下 実
6期 月川 清	20期 上田 正博	30期 木下 陽介	37期 星野 俊幸	42期 野口 拓也	46期 鐘川進太郎	48期 浜田 芳蔵
6期 山下 謙二	20期 岩室 義康	30期 山田 秀二	37期 村上 修一	42期 橋本 康平	46期 井上 貴義	48期 宮脇 篤志
6期 森 浄	22期 井澤 信之	31期 吉竹 孝介	37期 河千田伸一	42期 平川 俊行	46期 有吉 将	48期 宇都宮崇人
7期 石田 吉曠	22期 川端 健生	31期 安藤 康伸	37期 井上 憲一	42期 藤田 尚志	46期 牛島 啓輔	48期 長柄 仁
7期 熊谷 高信	22期 河野 祐	31期 中津 武士	37期 野瀬 武也	42期 中村 正文	46期 中 淳治	
7期 安藤 芳郷	22期 青木 彰	31期 野入 修	37期 木原 太郎	42期 永島 藤吾	46期 波多江教雄	
7期 松本 弘敏	22期 平田 孝康	31期 今村 芳久	37期 吉田 典弘	42期 川嶋 崇嗣	46期 大塚 光毅	
7期 小野 信也	22期 中原 龍三	31期 後藤 純信	37期 塚本 肇	42期 杉 雄介	47期 中島 篤史	
8期 小島 公望	22期 黒瀬 秀之	31期 本村 聡	38期 山中 慎二	42期 樋口 学	47期 西坂 次郎	

同窓会年会費納入のお願い

創立以来、卒業生も約7,000名となりました。今まで年会費の納入は毎年の卒業生と同窓会総会の出席者（年100名前後）が納める会費でのみ運営されてまいりましたが、「卒業生一人々の責任ある力でさらなる発展を」目標に日々邁進するためにも卒業生の皆様の暖かいご理解とご支援をお願いいたします。

泰星学園同窓会長 松尾 秀夫

・終身会費 50,000円 ・年会費 3,000円

尚、終身会費納入の方には会員証（50度数テレカ）を進呈いたします。

※同窓会総会に出席出来ない方は、同封の振込み用紙にて振込みをお願いします。

◆平成10年度 泰星学園同窓会総会のお知らせ◆

- 日時 7月18日(土) 6時(総会) 7時(懇親会)
- 場所 博多パークホテル 博多駅博多駅前4-11-18 電話 451-1151
- 会費 6,000円(年会費3,000円含) 学生2,000円

主幹世話人 (29期生) 大石・平田・本庄 (39期生) 末永・堤・小田 (49期生) 坂本・高橋・岡部・安藤
副幹世話人 (30期生) 村上・東・大川畑 (40期生) 瓜生・日浦・徳永

〈追伸〉 なお、連絡不行き届きの同窓生の方もおられると思いますので、1人でも多くの方をお誘い頂きたく存じます。